

# ■第11回 2022.3.26

◎1人目 講話者 **ダッタ シャミ Shammi Datta**

○所属 **岡山理科大学 教育学部 学科長 / 国立台湾師範大学院 客員教授**

○テーマ **「国際バカロレア「知の理論」**

**参加型体験授業 ～歴史、考える、語り合う、もっと考える～**

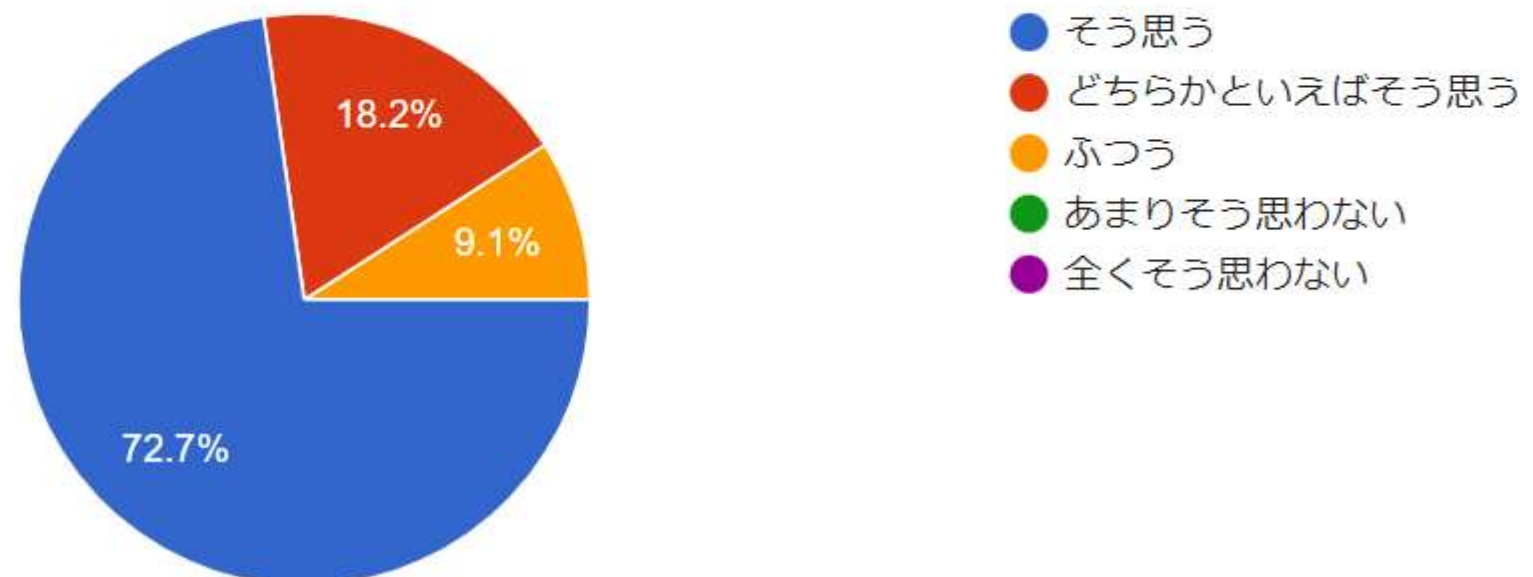
◎2人目 講話者 **関口 就**

○所属 **東京理科大学 大学院理工学研究科 建築学専攻**

○テーマ **「COVID-19が日本の学校建築に与えた影響と今後の学校空間の展開」**

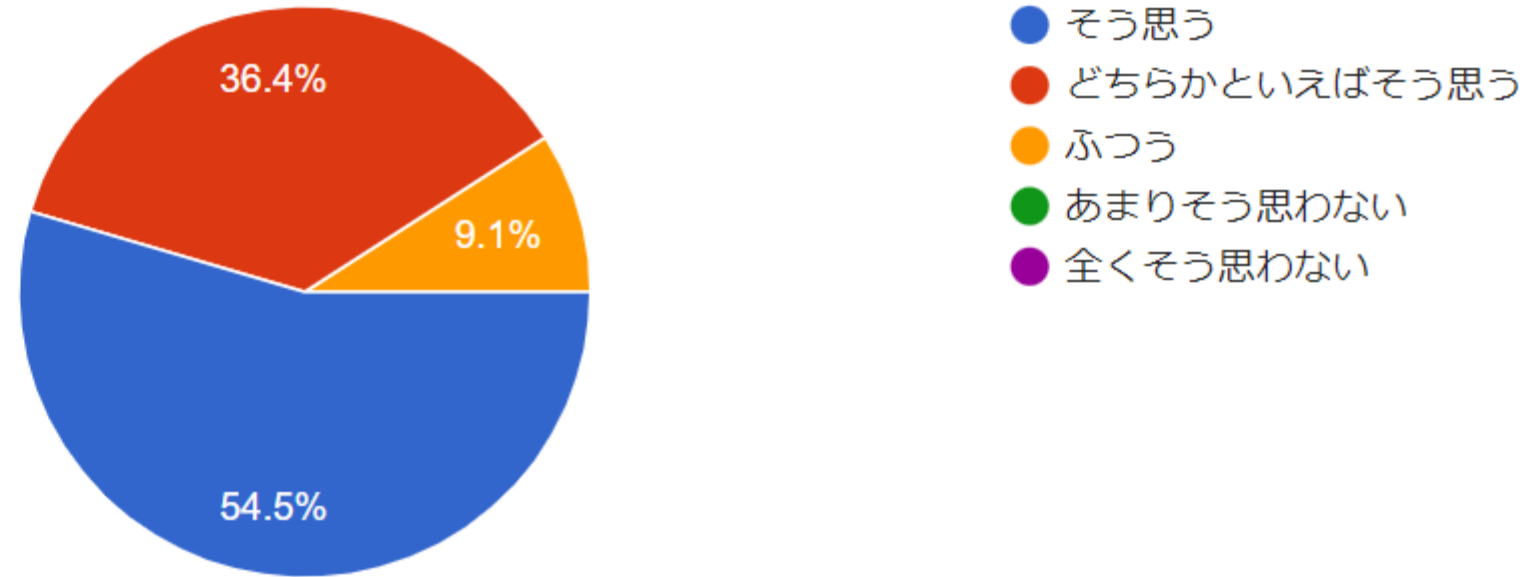
Q1: 今回のプレゼンテーションは、あなたの視線や注意を惹く演出や画面切り替えがなされていましたか？

11件の回答



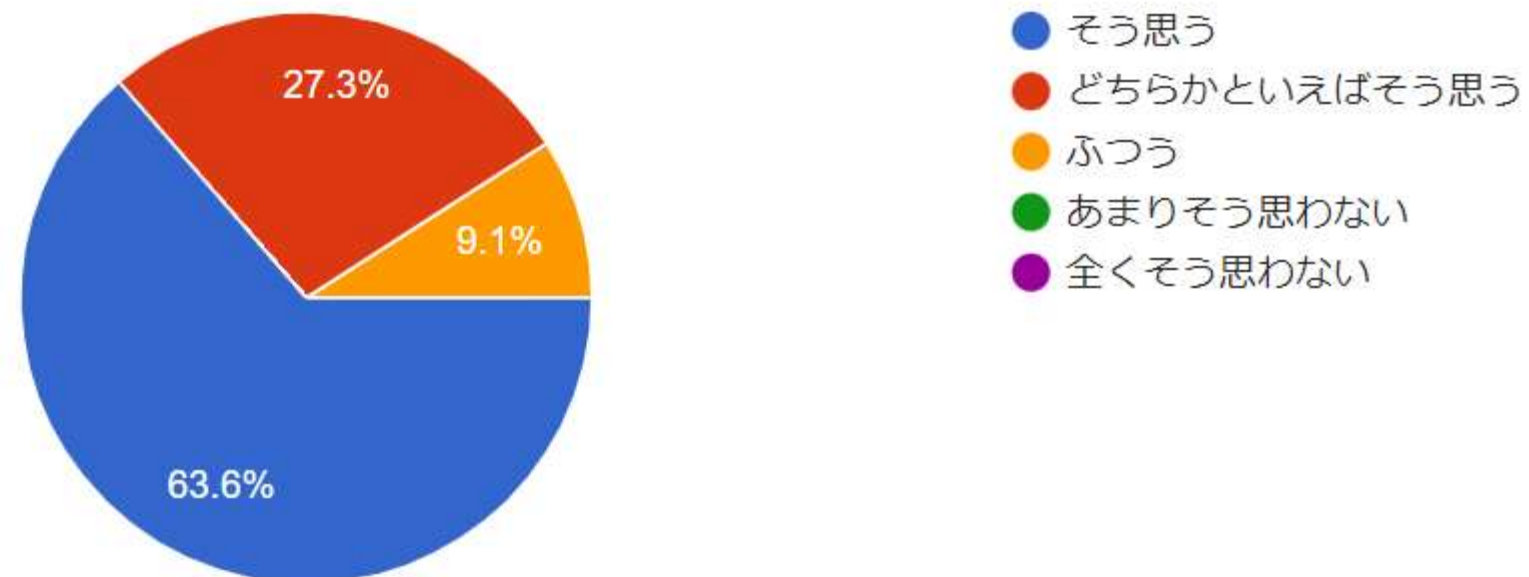
Q2: 今回の講話・ワークショップは、オンラインならではの工夫があるものとなっていましたか？

11件の回答



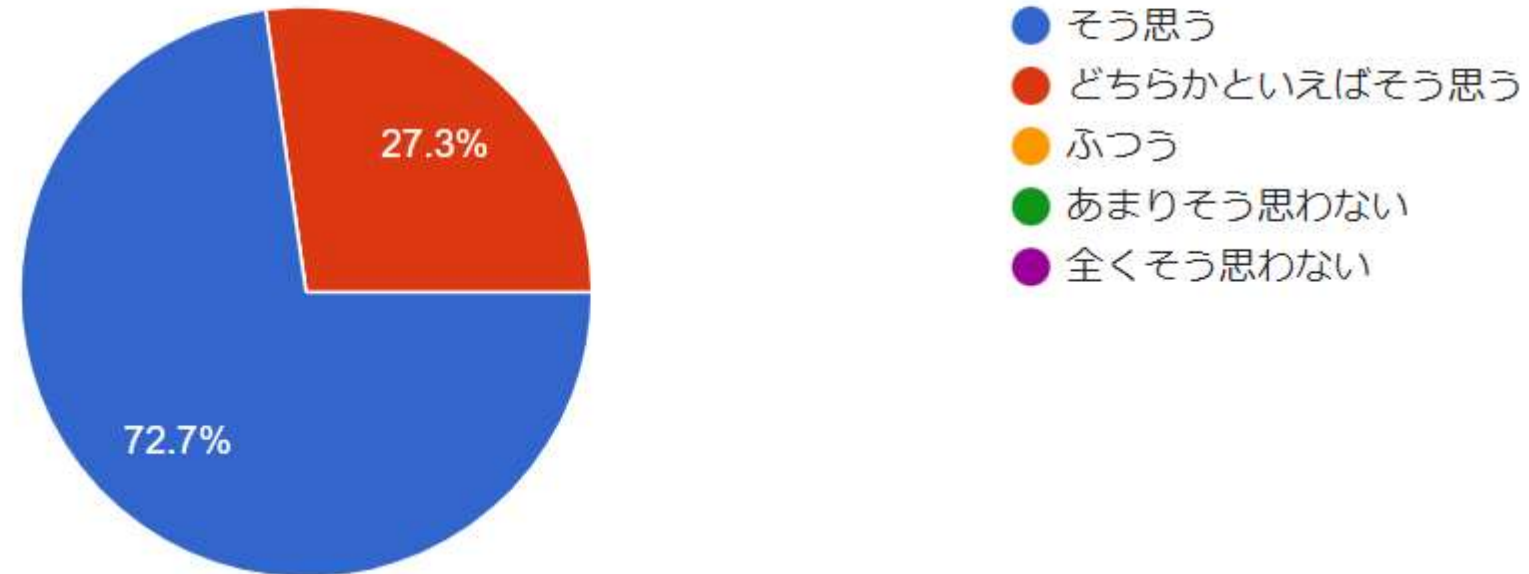
Q3: (画面上での講師の魅せ方) 画面から見える講師の表情や視線、姿勢、声量は適切でしたか？

11件の回答



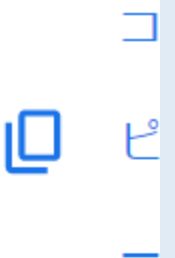
Q4：（オペレーションの安定度） 講義が円滑に進行できるよう司会や事務局等のサポートは機能していましたか？

11件の回答



Q5：今回の講義そのものの内容は、あなた（のご期待）にとって有意義なものだと感じられましたか？

11件の回答



Q6：上記Q5について、補足ご意見、ご評価、気になった点や改善点があればお聞かせください。

歴史とは どの振り返り

岡山理科大学シャミ先生の「知の理論」、内容も進め方も大変興味深かったです。

東京理科大関口さんの「卒論内容（COVID-19が日本の学校建築に与えた影響と今後の学校空間の展開）」、現実味のある内容で大変興味深かったです。

自分は移動中のため発言ができませんでしたがブレイクアウトルームで少人数で意見を言い合える場があるのはよかったと思うので講演テーマによっては今後も積極的に導入していただけたらいいなと思いました。

新しい考えを学ばせて頂けて良かったです

シャミ先生のバカロレアの取り組み、歴史についての問いなどで、改めて気づいた点がありました。いま日本の大手企業がメンバーシップ型の採用から、ジョブ型採用へ切り替えへ移行しています。新卒採用においても、徐々に「どんな仕事をやりたいのか？」ということが問われ、「どんな生き方をしたいのか？」をより強く求められると思います。大学をはじめ、高校においても対話や問いに対して考える機会というのは非常に有効だなと感じました。

Q6：上記Q5について、補足ご意見、ご評価、気になった点や改善点があればお聞かせください。

学校建築については、これまで画一的な構造だったのが、黒板然り机や椅子、クラスの雰囲気についても、もっと自由であるといいなと感じました。奈良女子大附属小学校は、ずっと以前から、教師の机はクラスの一番後ろに置いて、授業の半分ぐらいを生徒に教師役をさせたりしています。机も四角や三角に置いてみたりして、通っている小学生も非常にいきいきされています。もっと頭を柔軟にして、取り組めるような学校環境だといいと思います。

リモートでのミーティングは、困難さもあるかと思いますが、司会者が各参加者への振るタイミングや質問への適性が調合が達せられず残念な点があった。全体的に大変興味部会内容と進行で、プレゼンターの方はじめ皆様ご苦勞様でした。有難うございました。

シャミ先生のお話から、過去は万人に得られる紛れのない時間の経過であり、歴史は、切り取られたもので、見る角度によっても変わり得るものだと感じ、学問の視点と視野の広さの大切さを感じました。二部も、よく調査され素晴らしい発表でしたね。ここに子どもの発達や学習が絡むと将来、面白い空間や建築が生まれる可能性を感じます。

Q7：その他の御意見や今後の講話会のテーマのご希望などありましたらお書きください。

Q7：その他の御意見や今後の講話会のテーマのご希望などありましたらお書きください。

3件の回答

オンライン教育は どのような方向へ行くか

基調的な講義、事例報告、質疑などと流れると思われませんが、基調講演初めの段階で初めての参加者の為の牽引をお願いします。

学生さんのプレゼン、ファシリテートは貴重な経験になると思います。ファシリテートに関しては、今後、南さんのように、突っ込んでもいいかも知れませんね。  
ありがとうございました。